

タイトル		
顎骨の再生方法及びそれに使用する顎骨用移植材料		
技術分野	利用分野・適用可能分野	情報メモ
<input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input checked="" type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> その他()	医療分野(顎骨用移植材料およびその製造方法)	別紙資料: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見学: <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 その他:
提供特許情報(出願番号等 / 出願日 / 出願人)		関連特許番号
出願番号:特願2007-156716 出願日:2007年6月13日 発明の名称:顎骨の再生方法及びそれに使用する顎骨用移植材料 出願人:学校法人久留米大学		
目的・効果・特徴		
<p>【目的】 疾患等により、顎骨の治療を行い、その一部を除去・欠損した場合における安全かつ正確に骨移植あるいは、チタン等の人工顎骨により顎骨を修復・再建する方法を提供する。</p> <p>【効果・特徴】 1)複雑な構造の顎骨のうち、除去された幹部(欠損部)の再生に際して、移植のため患者の他の部位の骨を採取する必要がない。 2)移植部分が感染症を起こすリスクが軽減できる。 3)移植材料の基となる骨芯の精密成型が可能となり、顎骨の正確な修復ができる。 4)本発明により、患者が疾患前と同様・正確に咀嚼発生ができるようになる。 5)治療により歯も同時に除去した場合も、同時に歯の修復も性格にできる。</p>		
技術概要		
患者の顎骨の患部を除去する前に、あらかじめ本発明方法を実施し、患者の健常時での顎骨等の形態を測定・記憶させ、除去患部形状や患部に基づく除去形状、除去残部から補填部形状情報を得て、骨芯をつくり、その表面に患者の骨細胞を増殖させる。 この際に、本発明方法を実施することで健常時の形態を復元させることができる、新規且つ有効な再生方法である。本発明は骨再生医療分野で広く利用することができる。		
図・特記事項・その他		